

報道関係各位

2014年10月10日
森ビル株式会社

MEDIA SHIP 表参道ヒルズ

- インテリアとデザインの“今”を感じる「場と間」 -

情報発信イベント「BAtoMA information」開催

- デザイナー三宅一生企画の公演を追ったノンフィクションフィルム「FLYING BODIES」を特別上映
- 「食」と「アート」を結ぶ新感覚スペース「ROCKET」などがコーディネートするトークイベントを開催



※前回開催の様子

表参道ヒルズのイベントスペース「スペース オー」(本館B3F)では、10月31日(金)から11月3日(月・祝)まで、インテリアを楽しむ秋のイベント「場と間 vol.07」を開催します。「Color」をテーマに、表参道ヒルズと、ラフォーレ原宿にて初の2会場同時開催。表参道ヒルズでは、「BAtoMA information」と題し、多彩なゲストが集まるトークイベントを中心に、国内外のクリエイターによるインスタレーション、映画上映、ワークショップなどの参加型イベントが毎日行われ、誰もが持つクリエイティブな心を刺激します。東京にデザインの話があふれるこの時期、「場と間 vol.07」からインテリア・ライフスタイルの“今”を発信します。

<開催概要>

- 【名称】 場と間 vol.07 BAtoMA TRADESHOW / BAtoMA information
- 【会期】 2014年10月31日(金)～11月3日(月・祝) 11:00～19:00 ※最終日は17:00まで
※10月30日(木)はBAtoMA TRADESHOWを招待制で開催。
- 【入場料】 1日券1,000円/フリーパス1,500円(税込) ※2会場共通券。
- 【第1会場】 BAtoMA information(場と間インフォメーション) 表参道ヒルズ 本館 B3F スペース オー
- 【第2会場】 BAtoMA TRADESHOW(場と間トレードショー) ラフォーレ原宿 6F ラフォーレミュージアム原宿
- 【お問合せ先】 batoma_exhibition@hpggrp.com 【主催・企画制作】 アッシュ・ペー・フランス株式会社 場と間事業部
- 【公式HP】 <http://www.batoma.com> 【アートディレクション】 DRAWER 池田充宏
- 【会場デザイン】 [BAtoMA information] rhythmdesign 井手健一郎、[BAtoMA TRADESHOW] matic 外山翔

<テーマ:Color>

「Color」という言葉には様々な意味が含まれます。赤や青、緑という色の表現というだけでなく、人が生み出す特色(アイディア)という意味もあり、それは私たちの生活を彩るとも重要な役割を果たしています。今回は「Color」をテーマに、空間はもちろん新たな発想を提案し続けるクリエイターの紹介や、これからトレンドとなる「Color」の発信など、様々な角度から「Color」を生活に取り入れる提案を行います。植物を置いたり、壁を塗ったり、アーティストの作品を飾るだけで、いつも過ごしている空間の印象を大きく変えることが出来るはずです。

本件に関する報道関係の方のお問合せ先

表参道ヒルズPR事務局:小村・森本・木暮
TEL 03-4574-6250
FAX 03-3265-5058
森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室
プロモーションチーム:梅木
TEL 03-3497-0292
FAX 03-3497-0318

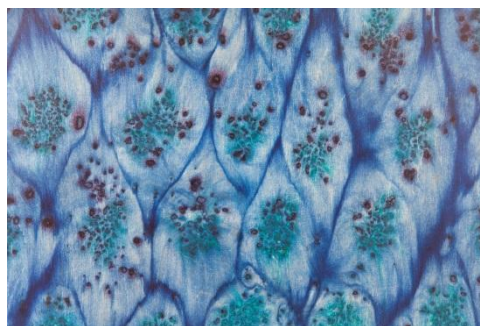
BAtoMA information 詳細 (表参道ヒルズ 本館 B3F スペース オー)

BAtoMA information とは

インテリア情報とその楽しみ方を広く紹介する情報発信イベントで、インテリア・デザイン・アート好きなら誰でも入場可能です。多彩なゲストの頭の中を覗き込むようなトークイベント「窓 -MADO-」を中心に、日本のデザイン界をリードする 9 組のクリエイターによる新作家具の発表や、ベルリンの気鋭クリエイター「llot llov(ロット・ロヴ)」のインスタレーション、デザイナー三宅一生企画による「青森大学男子新体操部」公演を追ったノンフィクションフィルム「FLYING BODIES」の特別上映など、盛り沢山の企画が毎日行われ、誰もが持つクリエイティブな心を刺激します。この他、都内インテリアショップやデザインイベント情報を発信する参加型インフォメーションボード「TOKYO INDEX」や、ワークショップなどに参加することで生のインテリア情報に触れられます。会場内には、人気のホールフードマシン Vitamix (バイタミックス) を使用して自分好みのオリジナルスムージーを作れる期間限定スムージーバーも登場。くつろぎながら、インテリア散策のための情報を集めることができます。

インスタレーション① osmosis - 塩の浸透性 -

ベルリンで活動するデザイン・コレクティブ「llot llov(ロット・ロヴ)」が来日し、最新プロジェクトの発表を行います。木の表面上に美しくカラフルなパターンを作り出す塩の浸透性 (osmosis) から生まれた作品「OSIS(オーシス)」のインスタレーションを「WORKSPACE(ワークスペース)」として展示。会期中、デザイナー自ら osmosis のテクニックをライブパフォーマンスで実演します。また、過去から現在までのベストな作品を集めた空間「SHOWCASE(ショーケース)」を併設。彼らの作品が生み出される瞬間、行程、場を体現する、ここだけの「LLOT LLOV LAB(ロット・ロヴ ラボ)」が現れます。



<llot llov(ロット・ロヴ) プロフィール>

インテリア&プロダクトデザイナー。2006年に4人でデザインコレクティブ llot llov を立ち上げ、プロダクトからアートまで様々なプロジェクトを行った後、llot llov - ARTWORK SHOP GmbH を設立、自主的な生産とディストリビューションを行う。2014年より Ania Bauer (アンニャ・パウワー) と Jacob Brinck (ヤコブ・ブリック) がデザインのヘッドとなり、ベルリン・ノイコルンにて、家具、プロダクト、照明、インテリアのデザインと生産管理の全てを行い、多分野に渡るプロジェクトを手掛ける。

[公式 HP]<http://www.llotllov.de>



インスタレーション② ICHIRO 2014 NEW COLLECTION OVER THE RAINBOW / 色の向こうにあるデザイン

家具メーカー伊千呂が、日本のデザイン界をリードする 9 組の建築家・デザイナーと共に作り上げた新作家具の発表を行います。イチロの家具は「生活のための道具」をめざし、生活の場楽しさを生み出し空間を自在に編集できるツールとして、家具を見つめなおしてきました。2012年にトラフ建築設計事務所デザインによる“ひとりになれる家具”「コロロデスク」を発表した後、さまざまな建築家やデザイナーと話し合い、素材や製作方法を研究してきた家具の展示インスタレーションを行います。ミラノ・サローネでも発表された長坂常(スキーマ建築計画)の「SHIBARI」、ドリルデザインのディスプレイブックシェルフ「TOTE」、角田陽太の「ガラス玉ホルダー」他、ミナ ペルホネン新作テキスタイルを使ったコロロスツール(ミナペルホネンコラボレーション)も発表します。

[公式 HP]<http://www.ichirodesign.jp>



【参加デザイナー】 トラフ建築設計事務所、スキーマ建築計画、角田陽太、ドリルデザイン、野本哲平、Design Soil (岩元航大)、山家明、TAKT PROJECT、ENERGY MEET ※順不同

【会場スタイリング】 作原文子

「FLYING BODIES」2日間限定 特別上映

デザイナー三宅一生が企画した伝説的な公演「青森大学男子新体操部」を追ったノンフィクションフィルム「FLYING BODIES」(中野裕之監督作品)の2日間限定特別上映を行います。

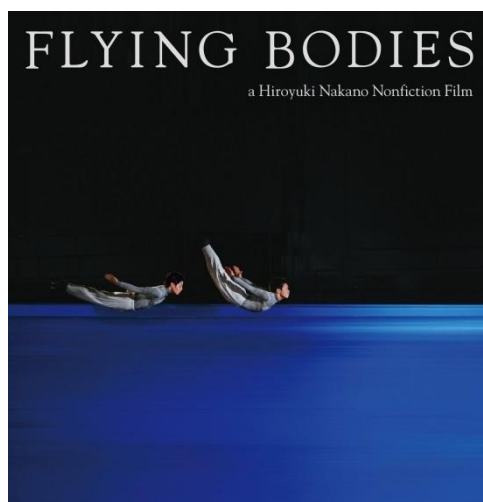
「FLYING BODIES」とは

昨年大きな話題となった「青森大学新体操部」のたった1夜限りの公演に集まった観客約3000人は、見た事の無いパフォーマンスに驚き、笑い、感動に涙した。止まらぬ拍手の渦、鍛え上げられた肉体とその身体表現で会場は至福の空間と化した。男子新体操の世界に新たな表現の可能性をもたらしたこの公演に向け、選手たち、そしてコーチ陣が何を感じ、何を考え、何に悩みながら日々練習に取り組んだのか? 演出家ダニエル・エズラロウの総合演出のもと気鋭のクリエイターが集結し、青森大学新体操部の公演本番まで約3ヶ月に及ぶ挑戦の日々を、中野裕之監督のカメラが追ったノンフィクションフィルム。

FLYING BODIES a Hiroyuki Nakano Nonfiction Film

中野裕之監督作品(78分/ステレオ) / 出演: 青森大学新体操部 / ナレーション: 豊原功補 / 音楽: OPEN REEL ENSEMBLE / 編曲: 畑中正人 / 撮影協力: キヤノン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、アクアジオグラフィック株式会社

©2013 FLYING BODIES 製作委員会 [公式HP]www.flyingbodies.jp



【日程】11月1日(土)、2日(日) 【時間】19:30~(上映時間78分) ※一般展示閉場後

【ゲスト】映画監督 中野裕之

※ご観覧の際は「場と間 vol.07」の入場チケットをご提示ください。 ※当日11:00から受付にて整理券を配布します。(先着90名)

※来場者多数の場合は入場を規制する場合があります。ご了承ください。

ワークショップ “The Cutlery Lab” CLOSE YOUR EYES and KISS YOUR CUTLERY

世界的なハウスウェアブランド「ALESSI(アレッシィ)」が、豊富なコレクションをもつ“カトラリー”にフォーカスしたワークショップを開催します。“make everyday happy”をコンセプトに「食とデザインとアート」をクロスオーバーさせ活動するユニット holiday とともに、ワンスプーンのコースを楽しむ目隠しレストランをオープン。視覚を閉ざし、握ったときの感触や口あたり、舌触りなど、五感を通してカトラリーと向きあうことで新たな驚きや発見が生まれます。[公式HP]http://www.alessi.jp

【日時】10月31日(金) 15:30~/16:30~ 2回

11月2日(日) 11:30~/12:30~/13:30~/14:30~/15:30~/

16:30~/17:30~ 7回

※両日とも各回約15~20分

【料金】500円(税込) ※別途「場と間 vol.07」の入場チケットが必要となります。

CLOSE YOUR EYES
AND
KISS
YOUR CUTLERY

ALESSI

Alessi Lab #4 - The Cutlery Lab - at TBA&A information from 31 Oct (Fri) to 03 Nov (Mon) 2014
Special "Black Restaurant" on 31 Oct (Fri) and 02 Nov (Sun) with direction by

トークイベント「窓 -MADO-」

頭の中をのぞきこむような、見知らぬ土地の窓を開ける時のような、わくわくした驚きや発見が得られるトークイベント「窓 -MADO-」。各界のスペシャリストをディレクターに迎え、イベントテーマである「Color」を「FOOD」「DESIGN」「CITY」「SPACE」の4つの角度からアプローチします。「食」と「アート」を結ぶ新感覚スペース「ROCKET(ロケット)」が「FOOD」を、クリエイティブシーンで活躍するプレスオフィス「dailypress(デイリープレス)」が「DESIGN」を、そして「場と間」が「CITY」と「SPACE」をキーワードに、それぞれが「いま話を聞きたい！」と思うゲストをコーディネートし、毎日3枠(最終日は2枠)計11枠のトークイベントを開催。ゲストたちが用意する数々の写真と、そこから生まれる会話から、インテリアやライフスタイル、デザインについて考えるきっかけが生まれます。

【日程】10月31日(金)~11月3日(月・祝)

【時間】13:00~/15:00~/17:00~

※11月3日(月・祝)は13:00~/15:00~

※各回60~90分を予定しています。

※BATO MA informationにご入場いただいた方はフリーでご覧いただけます。

※トーク内容は変更する可能性があります。

最新情報は公式サイト(<http://www.batoma.com>)をご覧ください。



※前回開催の様子

ROCKET

1996年、若手を中心としたアートカルチャー発信の空間として誕生。2011年に「食」と「アート」を結ぶ新感覚スペースとして原宿の中心に位置する隠れ家的な一軒家でリニューアルし、様々なクリエイターのエキシビションをはじめ、フードを中心としたクリエイターの発表の場、展示に連動したメニューの提供、ケータリングなど、従来のギャラリーにはない活動を行う。[公式HP]<http://www.rocket.jp>

■10月31日(金) テーマ:「FOOD」

- 13:00~ 「いつでもどこでも愛される真っ黒な飲み物、コーヒーのこと」
福田里香(お菓子研究家)
堀内隆志(cafe vivement dimanche マスター兼ロースター)
- 15:00~ 「あなたの食卓はどんな色? -映画で見る食卓の色のこと-」
有坂壘(移動映画館「キノ・イグルー」代表)
wato(「wato kitchen」主宰)
- 17:00~ 「オカズとスープのプロが話す色のこと」
山本千織(料理人、「chioben」主宰)
HORO Kitchen(デザイナー)



デザインを軸として、ライフスタイル全般に関連するものづくりや活動を行う方たちとメディアの間に立ち、総合的なパブリック・リレーションを行うアタッシュ・ド・プレス。過去にはDESIGNTIDE TOKYOのPRも担当し、現在は、ALESSI、カリモクニュースタンド、三越伊勢丹、伊千呂などをクライアントに持つ他、ミラノサローネに出展する企業のPRも担当する。
[公式HP]<http://dailypress.org>

■11月1日(土) テーマ:「DESIGN」

- 13:00~ 「ことばとデザイン」
田部井美奈(アートディレクター/グラフィックデザイナー)
小林エリカ(作家・マンガ家)
- 15:00~ 「OVER THE RAINBOW/色の向こうにあるデザイン」
作原文子(インテリアスタイリスト)
鈴野浩一(建築家/トラフ建築設計事務所)、
紫牟田伸子(編集者/デザインプロデューサー)
- 17:00~ 「With a continuous focus on developing ideas
-アイデアの表現-」
遠藤豊(テクニカルディレクター/LUFTZUG・代表)
中野裕之(映画監督)、田根剛(建築家/DORELL,
GHOTMEH, TANE/ARCHITECTS)



場と間

場と間とは、展示会イベントを中心に、各界の才能や企業、地域が出会う企画を編集し、想像力が集う「場(場所)」を通して、街や生活の中へ創造力のある「間(空間)」を広げていく、共創(シェア・クリエイティブ)型コンサルティングチーム。「場と間」主催の他、イベント企画・プロデュースを行う。[公式HP]<http://www.batoma.com>

■11月2日(日) テーマ:「CITY」

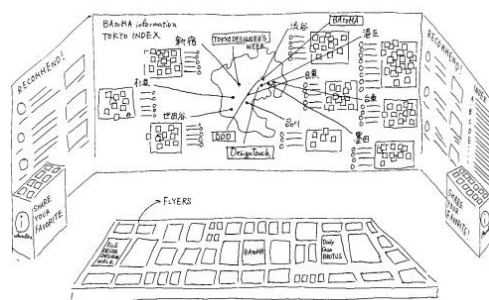
- 13:00~ 「旅するディレクターが考える都市の色」
Gert van de Keuken/ヘルトフアンドクッセン(TREND UNION
/STUDIO EDELKOORT クリエイティブディレクター)
家安香(Edelkoort East/Trend Union Japan 代表)
- 15:00~ 「BREATHING CITY BERLIN」
Ania Bauer/アンニャ・パウワー(llo t llo デザイナー)
Jacob Brinck/ヤコブ・ブリンク(llo t llo デザイナー)
小林樹里(コーディネーター)
- 17:00~ 「世界の人々はなぜ直島を訪れるのか」
占部隆子(公益財団法人 福武財団 広報統括)
馬場雅人(場と間 ディレクター)

■11月3日(月・祝) テーマ:「SPACE」

- 13:00~ 「(アートとデザインの)らんでる」
井上裕紀(affice キュレーター)
佐藤拓(affice, CLEAR
EDITION & GALLERY ディレクター)
- 15:00~ 「mitemite LAB. - 窓からはじまる -」
茂木雅代(インテリアスタイリスト)
小竹千景(LIVING MOTIF PR)
小池美紀(HOW INC. 代表、PR/
コミュニケーションディレクター)
古川真由子(THE CONRANSHOP PR)

街歩きのためのインフォメーションボード TOKYO INDEX

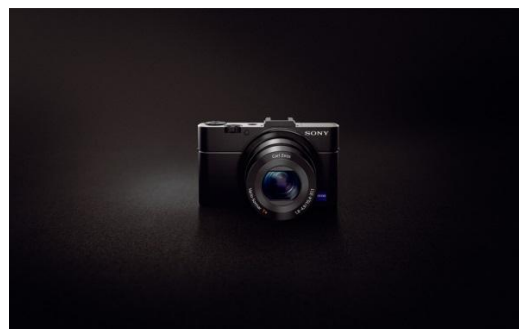
街歩きをするためのインフォメーションボード「TOKYO INDEX」。都内でおすすめのインテリア・ライフスタイルショップ、インテリアのプロが教えるピックアップ情報、デザインイベントの情報を紹介するとともに、来場者自身も情報発信を行うことができる参加型展示です。訪れた人々が情報を追加していくことで日々内容が更新され、この時この場所だけの情報が集うボードとなります。



※イメージスケッチ

クリエイターズフォトギャラリー「BAtoMA Creator's Photo Gallery」 presented by SONY

昨年発売され話題の「レンズスタイルカメラ」QX シリーズや、人気のコンパクトカメラ「サイバーショット」など個性豊かなソニーのカメラを持った各界のクリエイターたちが自由自在に日常を切り取り、「場と間 クリエイターズフォトギャラリー」に集まります。アート、デザイン、ファッション、フードの世界をリードする約 10 名のクリエイターたちが、どのようにカメラを操りどのような風景を捉えるのか、まるで頭の中をのぞきこむような写真展をお楽しみください。



【参加クリエイター一例】

諏訪綾子(フードアーティスト)／二俣公一(インテリアデザイナー)／llot llov(インテリア・プロダクトデザイナー)等 約 10 名

Vitamix × BAtoMA オリジナルスムージーバー

アメリカで 90 年の歴史を持つホールフードマシーン「Vitamix(バイタミックス)」から、場と間限定スムージーバーが登場します。カラフルなヘルシースムージーの他、場と間オリジナルスムージーを限定販売。また、毎日 11:00～12:30 に開催するワークショップでは、用意された中から自由に選んだ素材で実際に Vitamix を触りながら作る、自分だけの特別な朝スムージーを楽しめます。

[公式 HP]<http://www.vita-mix.jp>



【日程】10月31日(金)～11月3日(月・祝)

【時間】12:30～18:00 ※11月3日(月・祝)は16:30まで

【価格】400円(税込)

※ワークショップは各日 11:00～12:30 に開催。参加料 600円(税込) ※別途「場と間 vol.07」入場チケットが必要

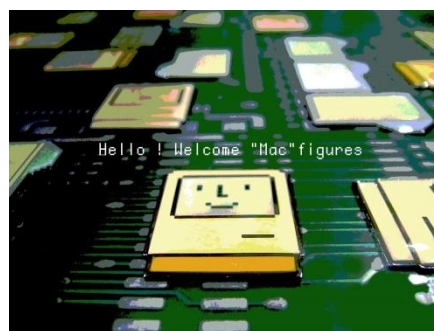
BAtoMA TRADESHOW 詳細（ラフォーレ原宿 6F ラフォーレミュージアム原宿）

「BAtoMA TRADESHOW」とは

デザイン・アート・プロダクトの合同展示会です。通常はビジネス関係者のみを対象とした展示会を一般にも開放することで、多彩な出展ブースを巡りながらバイヤー気分で購入を楽しむことができます。こだわりの空間は、「HOME&DESIGN」（キッチンアイテム、ファブリック、プロダクトなどインテリアのベースとなるアイテム）、「DECORATION」（エスニック、アンティーク、アートなどインテリアのスパイスとなるアイテム）、「GROCERY」（デザインや素材にこだわったグロッサリーアイテム）の他、場と間ディレクター 馬場雅人が商品開発に加わったアイテムを集めた「BAtoMA」エリアの 4 つのエリアに分かれ、多種多様なアイテムがそろいます。毎回エントランスで実施され訪れる人の感性を刺激するインスタレーションでは、ラジカセ蒐集が人気の家電蒐集家 松崎順一による「マッキントッシュ」のプライベートコレクションを本邦初公開。様々な表情を持つヴィンテージ・マックの体験型展示を行います。

インスタレーション「welcome “Mac” figures(ウェルカム “マック” フィギュア)」

家電蒐集家 松崎順一が愛してやまない「マッキントッシュ」のアーカイブ・コレクションを初公開！これまで隠しコマンドのようにプライベートでのみ楽しんできたコレクションを、BAtoMA TRADESHOW 会場で特別に展示します。これまでに蒐集した歴代「マック」のあらゆるハード/ソフト/グッズを、蒐集家ならではの視点で表現した体験型インスタレーションです。インディアンたちによって形作られ、歓迎の意を表すといわれる特別なトーテムポール「ウェルカム・フィギュア」のように、同じくアメリカ生まれの「マック」に息づく様々な物語を「ウェルカム “マック” フィギュア」で表現。数々のヴィンテージマックで作られた塔が来場者を迎えます。



<松崎順一 プロフィール>

家電蒐集家・デザインアンダーグラウンド主宰。近代家電製品の蒐集・整備・カスタマイズ・リプロダクト等。メイドインジャパンの家電の魅力を現代に甦らせる活動を展開中。[公式 HP]<http://www.dug-factory.com>



BAtoMA TRADESHOW 出展者

インテリアを彩る約 45 社のアイテムを、「HOME&DESIGN」「DECORATION」「GROCERY」「BAtoMA」の 4 つのエリアで展開。日本初上陸ブランドや新作のお披露目も多数登場します。

◇HOME&DESIGN：キッチン、ファブリック、プロダクト商材エリア

◇DECORATION:エスニック、アンティーク、アート商材エリア

◇GROCERY: グロッサリー商材エリア

◇BAtoMA: 場と間ディレクター編集商材エリア

出展アイテム

インテリア雑貨、ソープ、スキンケア、ボディケア、クッションケース、ベッドカバー、スリッパ、オーナメント、グリーティングカード、ステーションナリー、インテリアマスキングテープ、ウォールミラーステッカー、タイルステッカー、陶器、ヴィンテージ陶磁器、フレグランス雑貨、キャンドル、インテリアファブリック、フレグランスディフューザー、珈琲、製菓材料、チョコレート、ジュース、コンフィチュール、パスタ、オリーブオイル、リキュール、アルコール、ノンアルコールドリンク、キャラメル、ビスケット、ドライフルーツ、コンフィチュール、シロップ、オイルサーディン、スープ缶、トリュフナッツ、トリュフ塩、塩、グラノーラ 等 約 45 社

出展社一例



パウダーフーズフォレスト株式会社



株式会社大同



有限会社 ボルコパッチョ

場と間事業部について

場と間とは、展示会イベントを中心に、各界の才能や企業、地域が会う企画を編集し、想像力が集う「場(場所)」を通して、街や生活の中へ創造力のある「間(空間)」を広げていく、共創(シェア・クリエイティブ)型コンサルティングチームです。5月にクリスマスの合同展示会「BAtoMA CHRISTMAS」、10月にデザイン・アート・プロダクトの合同展示会「BAtoMA TRADESHOW」と情報発信イベント「BAtoMA information」を開催します。



場と間 vol.01

<活動履歴>

- 2007年 - 青参道 立ち上げ、青参道アートフェア プロデュース
- 2008年 - rooms プロダクトエリア 立ち上げ、キュレーション
- 2009年 - roomsLINK ASOBI 展 プロデュース、福岡 DESIGNING 展 プロデュース、H.P.DECO 福岡店 ディレクション
- 2010年 - 場と間 展示会 立ち上げ、株式会社 IMS「わたしのぼしょ」企画コーディネーター
株式会社パルコ直営ショップ「once A month」ディレクション
- 2011年 - 株式会社パルコ「PARCO TOURIST」企画コーディネーター
EXPO TAKA @ Paris ASTIER de VILLATTE ディレクション、福岡 DESIGNING 展 プロデュース
場と間 展示会 vol.02 主催
- 2012年 - TOKYO10月 H.P.FRANCE プロデュース・運営、場と間 展示会 vol.03 主催
roomsLINK TAIPEI デザインエリア ディレクション
- 2013年 - 場と間 展示会 vol.04/vol.05 主催、BAtoMA information 立ち上げ
株式会社 PARCO「BAtoMA in NAGOYA」企画コーディネーター
ARKHILLS アーク・カラヤン広場クリスマス空間装飾プロデュース
- 2014年 - 場と間 展示会 vol.06 主催、Tsé&Tsé associées MADE IN JAPAN「Tsé&Tsé RYOKAN」企画・プロデュース
オルセー美術館展 コラボ商品 企画・プロデュース

<表参道ヒルズ 施設データ>

【TEL】 03-3497-0310(総合インフォメーション) 【ADDRESS】 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-12-10
【HP】 www.omotesandohills.com 【facebook】 <http://www.facebook.com/omotesandohills> 【twitter】 @omohillfukukan

■営業時間	ショッピング・サービス	11:00~21:00	日曜~20:00
	レストラン	11:00~23:30(L.O.22:30)	日曜~22:30(L.O.21:30)
	カフェ	11:00~22:30(L.O.21:30)	日曜~21:30(L.O.20:30)

※一部営業時間が異なる店舗もございます。
※日曜日が祝日、休日の前日の場合、営業時間は通常と同じになります。
※連休最終日の祝・祭日の営業時間は日曜日と同じになります。

■休館日 無休(年3日休館日あり) ※次回休館日: 2014年2月16日(月)、17日(火)

■アクセス 東京メトロ銀座線、千代田線、半蔵門線「表参道駅」A2 出口より徒歩2分
東京メトロ千代田線、副都心線「明治神宮前(原宿)駅」5 出口より徒歩3分
JR山手線「原宿駅」表参道口より徒歩7分